

# 地域情報

お知らせやメッセージ(非営利)を無料で掲載します。ご希望の方は、内容・連絡先を明記し、前月25日までに右記の宛先へお寄せください。紙面の感想もお待ちしています。

**さわやかちば県民プラザ** ☎7140-8615  
月曜休所

●ちばアカデミア講座3「人に寄り添い人を高める人間拡張技術」10/14(月・祝)14:00~16:00、無料、60人、講師=東京大学 持丸正明客員教授、要申込、**申**受付中、WEB、電話、来所、10/7締切

**県立柏の葉公園** 事務所 ☎7134-2015

●日本文化にまつわる講話会

9/18(水)13:30~15:30、10人、1100円、**申**受付中、茶室 ☎7134-2017

●緑の講習会「洋ラン秋冬の管理」10/3(木)13:30~15:30、24人、無料、要申込、**申**受付中、事務所、先着順

●柏の葉ウォーキングクラブ 公園センター前9:00、当日受付、**問**川口 ☎090-8499-5454

①柏の葉健康コース 9/18(水)キャンパス駅・こんぶくろ池(7km)、200円

②ポール&ノルディック・ウォーク教室

9/24(火)、500円、ポールレンタル100円

③ウォーキング教室 10/1(火)、7km、200円

④第16回柏の葉公園ウォーキングフェスタ 10/20(日)、5~24km、詳細はホームページにて、事前予約大人500円、当日800円、高校生以下無料、10/10締切

## 江戸川台・運河の地域情報・紙面の感想を募集中

〒270-0103 流山市美原4-1212-4  
ASAグッド・モーニング編集室  
TEL.7156-2539 FAX.7156-2534  
メール:good-m@asa-edogawadai.com

**まちの健康研究所 あ・した** ☎7197-7713  
ららぽーと柏の葉北館3階、無料

●食ミニ講座「きのこ」①9/19(木)10:30~、②24(火)14:00~、約30分

●健康になれる歩き方セミナー 9/26(木)15:30~16:30 要申込

**北部公民館** ☎7153-0567

●なかよしひろば「リトミック」9/18(水)10:00~11:30、親子20組、無料、申込不要

●リズムストレッチング 9/18(水)13:00~14:30、20人、無料、申込不要

●男の料理教室(全7回) 9/24(火)~R7.3/25、毎月第4火曜日、9:30~13:00、16人、各1500円、**申**受付中、先着順

●みんなでリフレッシュ 9/25(水)13:00~14:30、30人、無料、申込不要

**江戸川台児童センター** ☎7154-3015

●にこにこサロン(誕生会あり)

①砂遊び 9/28(土)、②ちびっこ運動会 10/18(金)、いずれも10:30~11:30、0歳~親子20組、無料、要申込、**申**①受付中、②10/4~受付、先着順

●世代間バランスボール 10/19(土)10:30~11:15、祖父母と孫(0歳~)10組、無料、**申**受付中、先着順

**生涯大学校東葛飾学園** ☎7152-1181

●陶芸コース授業特別見学会 9/18(水)・10/16(水)10:30~11:45、60歳以上、要申込(希望日を選択)

**地域子育て支援拠点てるてる**

江戸川台東1-160-3、☎7136-2032

●フロア開放(自由遊び) 10:00~17:00  
9/16(祝)・18(水)・21(土)・23(祝)・25(水)

●多世代交流ひろば 9/29(日)11:00~人形劇「ピクニック」ほか、申込不要

**森の図書館** ☎7152-3200  
月曜休館(祝日は開館・翌日休)

●ポルトガル刺繍作品展 9/29(日)~10/27(日)9:00~17:00(初日と最終日短縮)、ギャラリー・ガラスケースとロビーに展示

●バリアフリーおはなし会 10/27(日)15:00~15:30、30人、無料、手話の同時通訳付き、手話体験や手遊びあり、**申**9/22(日)11:00~電話又はFAX

**利根運河交流館** ☎7153-8555  
月火休(祝日は開館・翌日休)

●写真展「皇太子(現天皇陛下)ご視察」9/29(日)まで、9:00~17:00(29は短縮)

●学芸員と歩く利根運河「庚申塔めぐり」10/10(木)運河駅9:30集合、同館12:00解散、20人、800円(庚申塔の本付き)、小雨決行、**申**9/21(土)9:00~電話

**流山おもちゃ病院** **問**HPより

●流山おもちゃ病院 9/14(土)・10/12(土)13:00~15:30、●駒木台児童館 9/17(火)9:30~11:00、●ひまわり幼稚園 9/21(土)9:30~11:30、●江戸川台児童センター 10/11(金)9:30~11:00

**その他**

●青空マルシェ 9/17(火)11:00~売り切れ次第終了、江戸川台東駅駅前ロータリー、パン類や弁当、魚や野菜などを販売、雨天中止

●自然観察会 ①利根運河の希少種フジバカマを訪ねて 9/21(土)9:00~12:00、運河駅集合

②野田市こうのどりの里でタカの渡り観察会 9/29(日)9:00~12:00、管理棟前集合、①②とも300円(高校生以下無料)、当日受付、雨天中止、**問**利根運河の生態系を守る会・紺野 ☎090-2420-8420

●パソコン無料講座 「Word・Excel・PowerPoint」 9/24(火)9:30~11:30、北部公民館、ノートパソコン持参、要申込、**問**・**申**流山ノートパソコンクラブ・加藤 ☎7159-2787

●益子焼 大塚雅淑展 9/28(土)~10/20(日)11:00~17:00、ギャラリーよし(流山市加)、入場無料、※10/1(火)・2(水)休廊、**問**☎7157-8144

●タウンミーティング 10/5(土)10:00~11:30、北部公民館、市長と流山の課題や夢を語ろう、無料、申込不要、**問**秘書広報課 ☎7150-6063

●国立がん研究センター柏キャンパス第15回オープンキャンパス2024 10/5(土)10:00~15:00、施設見学、調剤・身体機能検査・臨床検査体験、市民公開講座「未来の医療を先取りしよう」など、**問**open-campus@east.ncc.go.jp

●体調改善ストレッチ 「コンディショニングストレッチ」 10/15(火)10:00~11:30、江戸川台福祉会館、先着20人、無料、ヨガマット(バスタオルでも可)・タオル・飲み物持参、要申込、**問**・**申**同館 ☎7154-3026

●野田むらさきの里ふれあいウォーク 10/27(日)東京理科大学野田キャンパスセミナーハウス受付9:00~10:30、ゴール10:30~15:00、利根運河周辺や理窓会記念自然公園などの4・8・13kmの3コースから選択、野田市民300円、市外在住500円(10/11まで・それ以降は+300円)、中学生以下と障害者(介助者1人含)は無料、参加賞あり、雨天決行、**問**・**申**野田市スポーツ推進課 ☎7123-1367

**流山の史跡をあるく** 好評につき増刷!

同書は本紙連載の田村哲三氏の著書。紀伊國屋書店流山おおたかの森店やAmazonで好評販売中です。



「昨年は2千人が来場して賑わいました。今年もボランティア160人が協力して、みんなが楽しめる祭りにして行きたい」と三好和彦自治会長。ボランティアも募集中です。  
**問**☎7153-2123

9月21日(土)10時30分~16時、江戸川台7号公園(江戸小近く4丁目交差点)で江戸川台東自治会主催の「江戸川台東まつり」が開催されます(雨天順延)。  
江戸川台小と北部中吹奏楽のコーポ演奏をはじめ、近隣の小中高生がバトンやチアダンスを披露。お囃子、盆踊り、消防団によるクイズ大会など、催しものが盛りだくさんです。出店は11時から。自治会や江戸小PTA、子ども食堂や地域の商店も協力し、焼きそばやたこ焼き、かき水などが昔ながらの低価格で味わえます。例年、大人気の流山高校も出店。野菜や花苗を販売します。

## 江戸川台東まつり2024

## 居酒屋流(りゅう)



ライブ時は多くの来場者で賑わう

小田急ハイツの一角にある「居酒屋流」では不定期でライブが楽しめます。9月21日(土)18時から、9月21日(土)18時から、「君の実家は流山」や「カモンご多幸ピリケンさん」などのご当地ソングが評判の松下貴之慎さんと浅野フアミリーによるウクレレ・サクソ・キーボードのトリオ演奏が楽しめます。どちらもチャージ料無料、投げ銭自由。地元の居酒屋でワイワイ気軽に演奏を楽しもう。  
富士見台2丁目513161101(江戸川台駅から徒歩約13分)、**問**☎715318630

60歳以上が学ぶ千葉県生涯大学校。北部公民館に隣接する東葛飾学園では、地域の方が参加できるイベントも開催しています。  
◆第3土曜は子ども食堂  
夏休み中は7月下旬と8月初旬の6日間、新川小学校の子どもたちを対象に子ども食堂「夏休み学習サポート会」が行われました。学習だけでなく、お笑いやマジック、盆踊りや人形劇などのお楽しみプログラムを日替わりで用意。8月6日は「東京理科大学メディアアートサークルCAS(シーフォース)」によるプロジェクトによるピンクを楽しました(写真上)。  
通常の子ども食堂は毎月第3土曜に開催。今回は9月21日に行われます。10時30分~遊びや学びの場、12時~食事提供。子ども無料、大人200円、申込不要(先着65食)  
◆公開講座「チバニアンはどうす「いのか」」  
10月21日(月)13時~15時に行われる公開講座は、2020年に命名された話題となった「チバニアン」がテーマ。大学院生の時代からチバニアンと同じ「地磁気逆転」の地層を探して旅した千葉県立中央博物館の奥田昌明主任 席上研究員が、当時の体験談を交え、チバニアンの意義や凄さを語ります。定員50人、無料、要申込  
**問**生涯大学校 ☎7152-1181

## 生涯大学で公開講座や子ども食堂チバニアンがテーマの講座も



生涯大学校東葛飾学園の校舎



塗り絵した魚が海の映像を泳いだ

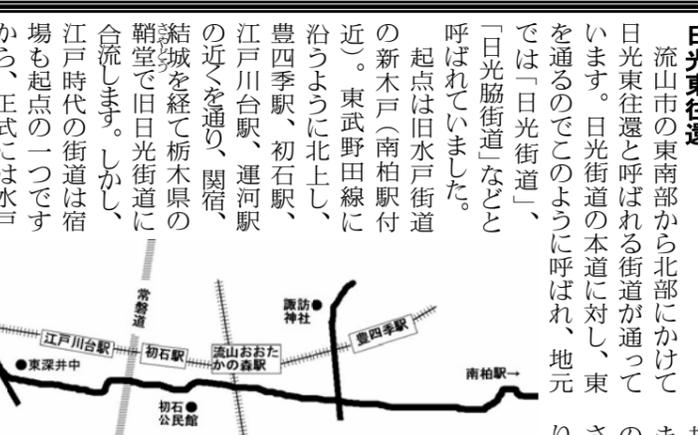
60歳以上が学ぶ千葉県生涯大学校。北部公民館に隣接する東葛飾学園では、地域の方が参加できるイベントも開催しています。  
◆第3土曜は子ども食堂  
夏休み中は7月下旬と8月初旬の6日間、新川小学校の子どもたちを対象に子ども食堂「夏休み学習サポート会」が行われました。学習だけでなく、お笑いやマジック、盆踊りや人形劇などのお楽しみプログラムを日替わりで用意。8月6日は「東京理科大学メディアアートサークルCAS(シーフォース)」によるプロジェクトによるピンクを楽しました(写真上)。  
通常の子ども食堂は毎月第3土曜に開催。今回は9月21日に行われます。10時30分~遊びや学びの場、12時~食事提供。子ども無料、大人200円、申込不要(先着65食)  
◆公開講座「チバニアンはどうす「いのか」」  
10月21日(月)13時~15時に行われる公開講座は、2020年に命名された話題となった「チバニアン」がテーマ。大学院生の時代からチバニアンと同じ「地磁気逆転」の地層を探して旅した千葉県立中央博物館の奥田昌明主任 席上研究員が、当時の体験談を交え、チバニアンの意義や凄さを語ります。定員50人、無料、要申込  
**問**生涯大学校 ☎7152-1181

## わがまち・ふるさと再発見!

「日光東往還」呼ばれていました。起点は旧水戸街道の新木戸(南柏駅付近)。東武野田線に沿うように北上し、豊四季駅、初石駅、江戸川台駅、運河駅の近くを通り、関宿、結城を経て栃木県の鞘堂で旧日光街道に合流します。しかし、江戸時代の街道は宿場も起点の一つです。正式には水戸街道の小金宿から日光街道の雀宮宿にいたる20里34町(約82km)が日光東往還になります。市内を通る日光東往還のほとんどが小金牧内を通過しています。そのため野馬が逃げ出さないように、牧内を通る水戸街道や諏訪道、船戸道、村などの出入り口には木戸が設けられ、番人がいました。この道が日光街道と呼ばれるのは、ただ日光にいたる道というだけではありません。

日光東往還 流山市の東南部から北部にかけて日光東往還と呼ばれる街道が通っています。日光街道の本道に対し、東を通るのでこのように呼ばれ、地元では「日光街道」、「日光脇街道」などと呼ばれていました。起点は旧水戸街道の新木戸(南柏駅付近)。東武野田線に沿うように北上し、豊四季駅、初石駅、江戸川台駅、運河駅の近くを通り、関宿、結城を経て栃木県の鞘堂で旧日光街道に合流します。しかし、江戸時代の街道は宿場も起点の一つです。正式には水戸街道の小金宿から日光街道の雀宮宿にいたる20里34町(約82km)が日光東往還になります。市内を通る日光東往還のほとんどが小金牧内を通過しています。そのため野馬が逃げ出さないように、牧内を通る水戸街道や諏訪道、船戸道、村などの出入り口には木戸が設けられ、番人がいました。この道が日光街道と呼ばれるのは、ただ日光にいたる道というだけではありません。

天保14年(1843)の社参では12の大名が5日に分けて通りました。1大名の平均人数は約1000人。そこに荷物運びの人足や馬が加わりますから、朝から晩まで通過する壮大な行列でした。近隣の村々からは見物人も押しかけ、市野谷の木戸付近には茶店が30軒ほど並んだと記録にあります。また、荷運びの人足と馬が同時に集められこれを助郷というました。天保14年の社参の時には、山崎宿では、39か村のうち1村につき1日人足30人、馬30頭が割り当てられたと記録にあります。つまり1日につき1170の人と馬が集められたわけで、大名行列の壮大さがわかります。  
明治以降の牧 明治新政府は牧を廃止して、維新によって職を失った人々を救済するために開墾会社をつくり、牧の開墾を行いました。新しくできた村は順に初富、二和、三咲、豊四季、五香、六実、七栄、八街、九美上、十倉、十一、十二、十三と命名されました。



「日光脇街道」呼ばれていました。起点は旧水戸街道の新木戸(南柏駅付近)。東武野田線に沿うように北上し、豊四季駅、初石駅、江戸川台駅、運河駅の近くを通り、関宿、結城を経て栃木県の鞘堂で旧日光街道に合流します。しかし、江戸時代の街道は宿場も起点の一つです。正式には水戸街道の小金宿から日光街道の雀宮宿にいたる20里34町(約82km)が日光東往還になります。市内を通る日光東往還のほとんどが小金牧内を通過しています。そのため野馬が逃げ出さないように、牧内を通る水戸街道や諏訪道、船戸道、村などの出入り口には木戸が設けられ、番人がいました。この道が日光街道と呼ばれるのは、ただ日光にいたる道というだけではありません。

天保14年(1843)の社参では12の大名が5日に分けて通りました。1大名の平均人数は約1000人。そこに荷物運びの人足や馬が加わりますから、朝から晩まで通過する壮大な行列でした。近隣の村々からは見物人も押しかけ、市野谷の木戸付近には茶店が30軒ほど並んだと記録にあります。また、荷運びの人足と馬が同時に集められこれを助郷というました。天保14年の社参の時には、山崎宿では、39か村のうち1村につき1日人足30人、馬30頭が割り当てられたと記録にあります。つまり1日につき1170の人と馬が集められたわけで、大名行列の壮大さがわかります。  
明治以降の牧 明治新政府は牧を廃止して、維新によって職を失った人々を救済するために開墾会社をつくり、牧の開墾を行いました。新しくできた村は順に初富、二和、三咲、豊四季、五香、六実、七栄、八街、九美上、十倉、十一、十二、十三と命名されました。